星空ニュース 2021. 12月の星空

上旬:21時頃 中旬:20時頃 下旬:19時頃

天文現象

- 12/ 4　新月（南極方面では皆既日食）
  金星が最大光度（マイナス 4.7 等級）
- 12/ 7　月と金星が並ぶ（日の入～ 19 時頃、南西の空）
- 12/ 8　月と土星が並ぶ（日の入～ 20 時頃、南西の空）
- 12/ 9　月と木星が並ぶ（日の入～ 21 時頃、南西の空）
- 12/11　上弦
- 12/14　ふたご座流星群が極大（出現のピーク）
- 12/19　満月
  …2021 年で月と地球が最も遠い満月
- 12/22　冬至
- 12/27　下弦

★ 惑星
★ 1等星
● 2等星
• 3等星
・ 4等星 以下

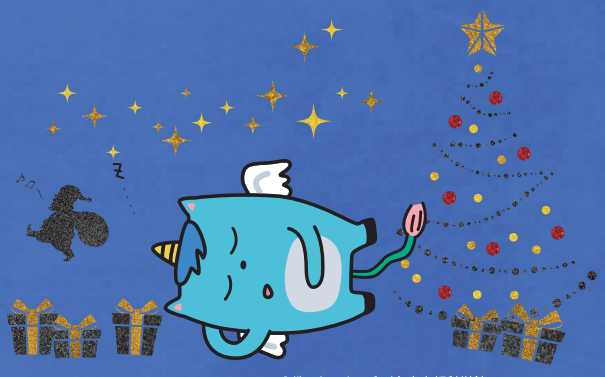
★星座盤の使い方

星座盤は空にかざして方位を合わせてみて！
空と重ねると…東西の向きが正しくなるよ。

ワンポイント星座

オリオン座

一列に 3 つ並んだ星を 4 つの星が囲んだ砂時計のような星並びが有名なオリオン座。赤っぽい色のベテルギウスと白っぽい色のリゲルという 1 等星を 2 つも持つ、大変豪華な星座です。オリオンはギリシャ神話に登場する狩人です。3 つ並んだ星はオリオンの腰のベルトで輝き、日本では「ミツボシ（三つ星）」「サンコウ（三光）」などと呼ばれています。



ペガロク ©dwarf ／多摩六都科学館

多摩六都科学館
Tamarokuto Science Center

今月のポイント 生解説プラネタリウム シリウスってどんな星？

星座をつくる星の中で最も明るく見えるシリウス。みなさんはその輝きからどんな印象を受けるでしょうか。
星には日本各地それぞれに星名の伝承があり、それらは星の「和名」と呼ばれます。シリウスにも、色や明るさ、昇る順番などから、様々な呼び名がつけられてきました。地上からは明るく見つけやすい星ですが、シリウスそのものは一体どんな星なのでしょう。味わい深いシリウスの和名とともに、明るさの秘密に迫ります。

コラム 12月14日　ふたご座流星群が極大

2021 年のふたご座流星群は、12 月 14 日が出現のピークと予想されています。この日を前後とした 13 日の夕方から 15 日の明け方にかけては普段よりも多くの流れ星が見られそうです。なお、夕方から夜の時間帯は空に上弦を過ぎた月があるため、月が沈んだ後の時間帯の方が空が暗く、流れ星がさらに見やすくなります。流れ星を見るコツは①明かりの少ない②視界の開けた場所で③空全体を広く眺めることです。暗さに目を慣らし、じっくりと眺めるほど、多くの流れ星を見るチャンスがあります。2021 年を振り返りながら、2021 年を締めくくる天文現象をお楽しみください。